

## ユース・フィランソロピー（青少年による社会支援活動）日米協働開発プロジェクト

### ▷ プロジェクト発足の背景

スマトラ沖地震、ハリケーン・カトリーナなど数々の大災害、そして環境問題など一つの国では解決できない様々な問題が多い現在、国境を越えた救済活動が増加、グローバル市民としての社会支援はますます必要とされています。同時に日本だけでなく、フィランソロピー大国と言われてきたアメリカでも、シビル・ソサエティ全国会議（1998年）で「我が国の若者の市民社会に関する理解は著しく低下している」と指摘されるなど、次世代を担う市民として青少年を育む必要性が、今、大きく問われています。

フィランソロピー（philanthropy、寄付やボランティアなどの社会貢献活動）は、恵まれない方々やコミュニティ／社会のための活動という利他主義的な発想に留まらず、実際に関わった本人（寄付者、ボランティア）にとっても充足感、新たな知識や体験の習得、広い社会とのふれ合いを得る貴重な機会であり、その結果、特に若者達にとってはリーダーシップ・スキルを伸ばすために非常に効果的である側面が近年、アメリカで注目されるようになりました。さらに経済的、家庭的に苦境にある子供達、学校での勉強や地域でのあり方に悩む子供達など、さまざまな問題を抱える若者たちを、既存の学業成績以外の形で評価し、彼らのやる気と可能性を引き出す方法としても活用され始めています。

### ▷ プロジェクトの関係者

こうした課題に取り組むべく、日本とアメリカの協働体制がつくられました。インディアナ大学フィランソロピー・センターが中心となり、米国からは主格ユース・フィランソロピーや在米日本関連団体ほか、日本からは日本青年奉仕協会研究員・市民社会コンサルタントの村上徹也氏、中央共同募金会の阿部陽一郎氏を中心とし、日本におけるユースや市民社会の主格団体を代表する有識者の方々が関わっています。

主な関係団体あるいは代表者の所属団体（50音順）：

米国	日本
• インディアナ大学フィランソロピー・センター	• コラボネット
• インディアナ日米協会	• 児童健全育成推進財団
• 全米YMCA	• 東京女学館中学・高等学校
• ユース・フィランソロピー・イニシアチブ・オブ・インディアナ	• 東京都教育庁
• ユース・アズ・リソースィズ／ユナイテッド・ウェイ・オブ・セントラルインディアナ	• 中央共同募金会
	• 日本青年奉仕協会
	• 日本YMCA同盟

- リーグ／ラーニング・トゥー・ギブ

学校（主に高校）、ユース団体、地域に根ざした団体など、さまざまな組織が中心となり、そこで地域のニーズや問題を青少年達が見出し、解決への手法を実践する事を目指しています。また、そうした青少年を導いていく先生や指導者の方々に対しても、さまざまな研修機会を提供、その結果として指導マニュアルも作成されます。

このプロジェクト開始は、国際交流基金日米センターからの有り難いご支援で始められました。

▷ 私たちの活動内容と目的

- 青少年以外に、指導者、研究者、実践家による日米のネットワークを構築する
- 日米のユース・フィランソロピーの調査、その評価方法の設計、さらにパイロット・プロジェクトの実施を通して、日米間での理解を深める
- 学校の教育者とユース関連団体の実践家に対する十分な研修過程を提供する
- 教材、インターネット、ワークショップなどにより、日米間の青少年と指導者が密に連絡を取れる方法を確立する
- プロジェクト結果として、報告書（評価方法付）、指導者への手引き書、ユース・フィランソロピー活動のマニュアルなどを作成、関心のある方々にも積極的に配布、広めていく